

# カバープランツを植えました

群馬用水では、毎年たくさんの除草費用が掛かっています。その除草費用を減らすこと、景観・環境の向上を目的として、今年の8～9月にかけて榛名幹線の2箇所にかバープランツを植えました。

施工は、整地した後、雑草の生育を抑える防草シートを一面に張り、その中に1m<sup>2</sup>あたり4株の『ヒメイワダレソウ』を植えました。現在、茎が横に伸び葉を付けています。来年の初夏には、広く地面を覆い、かわいい白い花をたくさん咲かせることでしょう。



榛名流況安定施設



榛名調整池

注) 植栽の周囲に黒く見えるのは、雑草の生育を抑える防草シートです。

## カバープランツとは・・・

地表を覆う（カバーする）ように生育する植物の総称です。茎や枝を横に伸ばして地面を低く薄く覆うことで、土壌乾燥や土の流出、雑草抑制等の効果があります。

雑草を抑制する効果で除草の経費削減を期待しています。一般的には、斜面や公園の樹木下の緑化等、造園や園芸で用いられています。

## 『ヒメイワダレソウ』ってどんな植物??

クマツヅラ科の多年草です。横を這うように成長し、背丈が高くなりません。白い小さな花を6月～9月に咲かせます。

成長して地面を覆うと、雑草の抑制効果があります。成長も早く、踏みつけや害虫にも強い特徴があります。



◆ヒメイワダレソウ植栽場所◆

ヒメイワダレソウは以下の2箇所で見ることができます。

